

# 兵庫県加東市

支援分野：地域ビジネス、観光

派遣対応年度：令和5年度  
地域情報化アドバイザー名：細川 哲星 氏  
派遣回数：計3回（実地）  
支援形態：支援・助言

## 基礎情報

- 人口：39,421名（令和6年11月現在）
- 面積：157.55平方キロメートル
- 主な産業：釣り針
- ・鯉のぼり
- ・ひな人形
- ・山田錦（酒米）



今回活性化を目指している東条湖

## 優良事業概要

### ●事業名 ICT周遊型・高付加価値観光コンテンツ開発の支援事業

#### ●事業の概要

ICTを活用した市内周遊型の観光体験商品（ご当地マードーマイステリー※）の企画開発支援  
※参加者がそれぞれのキャラクターを演じながら物語の謎を解く体験型エンターテインメント

#### ●事業の目的

観光客の一極集中の是正、観光客の滞在時間の延長を目的に、ICTを活用した新たな周遊型の観光体験商品を企画、開発することで、観光地としての魅力を強化したい。

#### ●アドバイザーへの依頼内容

- ①市や観光協会の職員、市内観光関連事業者にICTを活用した周遊型観光体験商品についての理解を深めてもらうため、観光体験商品の企画に関する体験会（研修）の実施
- ②市の観光課題と体験会の参加者から出た意見に対応したICTを活用した周遊型の観光体験商品の制作を目指した企画・開発の支援

## 地域情報化アドバイザーから受けた支援内容と成果

### ●支援を受けた内容

- ・誘客のための具体的なアドバイス。
- ・地元事業者への説明。
- ・地元観光地の視察。
- ・事業の体験会の開催。
- ・事業効果についての助言。
- ・一般事業者への事業の説明と具体的な事業の進め方についての助言。



地元観光地の視察



事業の体験会の開催

### ●支援を受けたことによる成果

- ・市として観光活性化の優先度が高い東条湖を中心に、滞在時間を延ばしつつ、参加者による消費の拡大を狙った『宿泊を伴う観光コンテンツ』を計画することができた。
- ・先進地の事例の解説を受けることで、ホテルやテーマパーク、製菓業者などの地元事業者が各自で担う役割を把握し、プランに参画する見込みが立てられた。
- ・地元の観光地（今回は東条湖周辺）の活用方法について、新たな知見が得られた。

## 支援を受けた事業の最新状況

### ○令和6年度での事業化を進行中

地域の魅力や特性を取り入れたマードーミステリーを実際に制作し、運用するためのアドバイスを受けており、宿泊事業者等の調整を重ねながら、特に観光地の閑散期（1～3月）を補う策として誘客できるよう、事業を進行している。

現地視察やオンライン会議を繰り返しつつ、地元の特徴の盛り込みに注力している。

また、他地域との差別化を図るために、地元の宿泊事業者の協力のもと、ホテルのフロアを貸し切ったの大規模な事業とする計画。

事業による地元での消費拡大も実現できるように助言を受けている。

令和7年2月から本格稼働中。



※1泊2食付き 28,000円（お土産あり）  
（上記はイベントキービジュアル）

### ○イベントの進行にインターネットを活用

イベントの進行にはスマートフォン、インターネットを活用している。イベントの際には、お客様のスマートフォンと、チャットアプリを利用するので、チャットアプリがインストールされていない場合は、事前にインストールを行うよう注意事項に記載を行っている。

夢の中の殺人サイト（利用制限/注意事項）

[https://immersivelab.jp/Yumenonaka\\_murder-notification](https://immersivelab.jp/Yumenonaka_murder-notification)

☆以下のような観点からインターネットを活用

#### ・情報提供の効率化

イベントの進行にICTを活用することで、複雑な推理情報や時間軸に関する情報を参加者へリアルタイムで提供することが可能となり、より没入感の高いイベントとすることができた。

#### ・参加者の利便性向上

スマートフォンを通じて手がかりや進行状況を管理できるため、推理を効率化でき、イベントがスムーズに進行可能となった。参加者に対してストレスが少なく、満足度の高い体験を提供できた。

## 地域情報化アドバイザー派遣制度を知るきっかけ

アドバイザー自身が加東市や福崎町といった周辺地域へ制度と事業を紹介しにお越しになったことが直接のきっかけでした。

加東市では現在、観光による交流人口の増加を目指しており、そのなかで、地域の特色を生かしながら、新たな層の方々が加東市へお越しになるきっかけを作れると感じ、アドバイザーとして助言をいただくことになりました。

地域の事業者のみなさんにも協力いただくことができ、今年度は実際に事業化してお客様を迎えることができるところまで来たので、感謝しています。

## 支援を受けた事業が成果につながった要因

我々のまちを実際に訪問され、各関係者や事業者への説明を丁寧にされたことであると考えます。マードーミステリーという世間的にはまだなじみの薄いと思われる事業について、体験会を交えながら、各事業者に分かってもらう努力を惜しまなかったことが、地元を動かし、「市やアドバイザーと一緒にやってみよう」という気運の醸成につながったのではないのでしょうか。

どれほどの成果があるかはわからない段階ではありますが、市も各事業者とも期待感を持っています。

## 支援をしたアドバイザーが考える成果の要因

今回の加東市での支援において成果が見られた要因は、地域の皆様との対話を通じて課題の本質を共有し、それを踏まえた実現可能な施策のイメージを共に描けたことだと考えています。現地を訪問し、観光協会や地元事業者の方々と意見交換を重ねる中で、地域資源を活かした観光コンテンツとして「ご当地マードーミステリー」を提案しました。また、他地域での事例や成功要因を丁寧に共有することで、「自分たちでも取り組める」という感覚を持っていただけたことが大きな成果だったと感じています。

ICTの活用についても、観光客に地域の魅力をより深く知っていただくための手段として活用できる可能性をお伝えしました。具体的には、観光体験の幅を広げる方法や、地域の特性を楽しみながら理解してもらう仕掛けについて、事例を交えながら共有しました。特に、閑散期の誘客や滞在時間の延長といった課題に対し、ICTを活用することでどのような付加価値が提供できるか、皆様に具体的なイメージを持っていただけるよう努めました。

さらに、体験会を通じて観光コンテンツの可能性を実際に感じていただき、地元事業者の方々が新しい観光施策に挑戦する意欲を高めることができた点も重要でした。「市やアドバイザーと一緒に取り組んでみよう」という気運が生まれ、地域全体で新しい挑戦を支える体制が整ったことが、今回の支援の成果に繋がっています。

この取り組みが加東市の観光施策にとって新たな可能性を広げ、地域の活性化に寄与することを期待しています。アドバイザーとして、引き続き地域の皆様と共に課題に向き合いながら、取り組みを支援していきたいと思えます。

## 地域情報化アドバイザー派遣制度に関する評価・感想

観光による交流人口の増加を目指している加東市にとって、新たな手法の観光施策の検討、新たな層の誘客は長年の課題で、これからも課題であり続けると感じています。

そのような中で、今回、地域情報化アドバイザー派遣制度の利用がきっかけで、地域を巻き込みながら、これまでにない観光施策を形にすることができるところまで来ました。実際に事業が成功するかはまだ未知数の部分もありますが、地域が抱える課題を専門知識を持って解決に導いてもらっていることは確実であると思えます。

市の観光協会を始め、地域の事業者も全く未知のものであった「マードーミステリー」を、事業化しようというところまで持ってこれたのは、丁寧に説明されたこともそうですが、地域の事業者に対しても、もしかしたら成功するのでは、というビジョンを見せられたからではないかと思えます。

地域事業者も、これまで以上に観光に目を向け、やる気を出せている状況ができたことは、事業の最終的な成果がどうあっても、地域活性化には間違いなくつながっているのではないかと思えます。今後ともアドバイザーの助言を受けながら、事業の成功に向けて頑張りたいと思っています。